

## 目次

中文摘要	I
日本語要旨	II
Abstract	IV
目次	VI
1. 序論	1
1.1 研究動機と目的	1
1.2 先行研究	2
1.3 研究方法	2
2. 文明開化による欧米食の移入	4
2.1 文明開化の意味—近代化と欧米化	4
2.2 欧米食の移入	7
3. 牛乳の受容	13
3.1 横浜・築地居留地と牛乳	17
3.2 都市内・近郊の牛乳の生産	20
3.3 牛乳の定着	26
4. 乳製品の受容	40
4.1 遠隔地農業の成立と乳製品の生産開始	44
4.2 乳製品企業化製造の嚆矢	49
4.2.1 明治乳業株式会社の場合	50
4.2.1.1 北陸製乳	50
4.2.1.2 房総煉乳株式会社	50
4.2.1.3 東京製菓株式会社	50
4.2.2 小岩井乳業株式会社場合	51
4.2.3 森永株式会社の場合	51

4.2.3.1	極東煉乳株式会社	51
4.2.3.2	森永製菓株式会社	52
4.2.4	日本製乳株式会社の場合	52
4.2.5	和光堂株式会社の場合	53
4.2.6	雪印乳業株式会社の場合	53
4.3	乳製品の定着	54
4.3.1	バター・チーズ	54
4.3.2	アイスクリーム	58
4.3.3	洋菓子	62
5.	結論—滋養から「おいしい食べ物」への変化と定着	65
6.	参考文献	67
7.	付録	71
7.1	近藤芳樹『牛乳考・屠畜考』（明治4年）	71
7.2	牛乳に関する法規	84
	謝辞	93